平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場会社名　ジャパンベストレスキューシステム株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　2453　URL　http://www.jbr.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 榊原　暢宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 鈴木　良夫　TEL 052-883-0850

四半期報告書提出予定日　平成25年5月15日　配当支払開始予定日　平成25年6月17日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	4,536	20.9	450	12.9	415	8.2	302	58.5
24年9月期第2四半期	3,752	△3.7	398	3.2	383	9.0	190	88.3

(注)包括利益　25年9月期第2四半期　306百万円　(47.8%)　24年9月期第2四半期　207百万円　(134.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	4,960.81	―
24年9月期第2四半期	2,984.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	10,666	2,760	24.1	44,602.41
24年9月期	9,640	2,860	28.3	43,584.27

(参考) 自己資本　25年9月期第2四半期　2,568百万円　24年9月期　2,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	500.00	―	1,000.00	1,500.00
25年9月期	―	500.00			
25年9月期(予想)			―	1,000.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,681	16.7	685	12.8	638	17.1	437	68.7	7,381.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社バイノス 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	68,858 株	24年9月期	68,858 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	11,281 株	24年9月期	6,272 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	61,011 株	24年9月期2Q	63,987 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 5
４．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（６）セグメント情報等 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題の小康状態に伴う輸出や生産の持ち直しに加え、円安、株価上昇等によって、多くの企業に回復基調がみられました。しかし一方では、円安に伴う原材料の高止まりや増税等による家計負担増大を不安視した消費マインドの低迷が継続しております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は4,536,115千円（前年同期比20.9%増）、営業利益は450,327千円（前年同期比12.9%増）となり、経常利益は415,084千円（前年同期比8.2%増）となり、四半期純利益は302,664千円（前年同期比58.5%増）と、いずれも過去最高となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス11千件、水まわり関連サービス21千件、カギの交換関連サービス29千件及びパソコン関連サービス10千件です。生活会員（ライフデポ会員を除く）の当期入会会員数は209千人（継続入会を含む）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　コールセンター事業

コールセンター事業におきましては、中小競合企業のWeb広告の攻勢等の影響によって入電件数が低下したことにより、カギ、パソコン等や前年同期において好調な伸びを示したリフォームにおいても苦戦を強いられたため、コールセンター事業全体の売上高が減少いたしました。

当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は、カギ部門の売上高が210,298千円（前年同期比4.5%減）、パソコン部門の売上高が42,457千円（前年同期比5.5%減）、リフォームの売上高が19,185千円（前年同期比19.9%減）となっております。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は、306,422千円（前年同期比7.1%減）となり、営業利益は71,446千円（前年同期比28.4%減）となりました。

②　会員事業

会員事業におきましては、賃貸住宅入居者向け「安心入居サポート」会員が、春先の転居シーズンに伴う提携企業の販売拡大により、引き続き順調に伸長いたしました。また、「学生生活110番」会員も提携大学の増加に伴い順調に伸張しております。

当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は、「安心入居サポート」会員の売上高が1,159,777千円（前年同期比55.3%増）、「学生生活110番」会員の売上高が83,808千円（前年同期比33.3%増）、「ライフサポートパック」会員等の売上高が244,216千円（前年同期比11.2%減）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,586,097千円（前年同期比36.5%増）となり、営業利益は456,293千円（前年同期比30.3%増）となりました。

③　企業提携事業

水の救急車事業におきましては、例年３月下旬までご依頼をいただく水道凍結のトラブルが早めに収束しましたが、ほぼ前年同期並みの業績となっております。

旭硝子ガラスの救急車事業におきましては、省エネルギー意識の定着により、窓関連リフォームの需要が順調に推移しましたが、緊急割れ換えの減少等により、前年同期を下回っております。

コールセンター受託事業では、受託内容の変化に伴い、前年同期の売上高を下回っておりますが、コールセンター受託企業数は引き続き増加し195社となっております。

企業提携事業におきましては、水の救急車事業の売上高が887,940千円（前年同期比5.2%減）、旭硝子ガラスの救急車事業の売上高が355,024千円（前年同期比8.3%減）、セコムウィン事業の売上高が40,130千円（前年同期比1.9%増）、コールセンター受託事業の売上高が306,321千円（前年同期比3.6%減）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,589,418千円（前年同期比5.4%減）となり、営業利益は128,519千円（前年同期比12.4%増）となりました。

④　加盟店事業

加盟店事業におきましては、プロモーション業務による加盟店への売上高が、70,196千円（前年同期比13.2%増）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は90,709千円（前年同期比7.0%増）となり、営業損失は139,580千円（前年同期は営業損失155,597千円）となりました。

なお、加盟店数は443拠点、協力店数は1,079拠点となっております。

⑤　少額短期保険事業

少額短期保険事業におきましては、賃貸住宅の家財を補償する「新すまいRoom保険」が順調に伸びていることにより、当第２四半期連結累計期間における当事業の売上高は828,044千円（前年同期比69.9％増）となりましたが、保険業法第113条繰延資産への費用繰り延べ終了の影響により、営業利益は88,188千円（前年同期比14.7％減）となりました。

⑥　自動車賃貸事業

自動車賃貸事業におきましては、一般顧客向け高級車等の賃貸が伸び悩んだため、当第２四半期連結累計期間における売上高は63,984千円（前年同期比53.5％減）となり、営業損失は14,508千円（前年同期は営業利益13,871千円）となりました。

⑦　その他の事業

その他の事業におきましては、前年第３四半期より開始した医療機器事業が軌道に乗り始めたことにより、売上高は208,569千円（前年同期は1,366千円）となりましたが、広告宣伝費の増加により営業損失は12,554千円（前年同期は営業損失210千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ576,949千円増加し、8,401,545千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が614,696千円増加したことによるものです。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ491,114千円増加し、2,112,870千円となりました。これは主に、株式会社バイノスを子会社化したこと等により、のれんが312,013千円発生し、投資その他の資産(その他）が290,640千円増加したことによるものです。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ197,183千円増加し、4,416,299千円となりました。これは主に、短期借入金が218,500千円減少したものの、買掛金が240,186千円、流動負債（その他）が168,281千円増加したことによるものです。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ929,102千円増加し、3,489,959千円となりました。これは主に、長期借入金が865,594千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ99,556千円減少し、2,760,518千円となりました。これは主に、利益剰余金が239,765千円、少数株主持分が60,135千円増加したものの、自己株式が409,469千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益417,844千円を計上し、長期借入れによる収入1,800,000千円があったたものの、売上債権の増加295,526千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出433,674千円、長期借入金の返済による支出1,049,805千円、自己株式の取得による支出408,700千円等により、6,364,134千円（前年同期比21.4％増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動の結果、獲得した資金は552,453千円（前年同期比84.8％増）となりました。これは税金等調整前四半期純利益417,844千円及び減価償却費63,387千円を計上し、仕入債務が120,623千円増加し、長期前受収益が72,606千円増加したものの、売上債権が295,526千円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の投資活動の結果、支出した資金は543,368千円（前年同期比68.9％増）となりました。これは投資有価証券の売却による収入205,817千円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出433,674千円、貸付けによる支出300,000千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の財務活動の結果、支出した資金は21,309千円（前年同期比94.0％減）となりました。これは長期借入れによる収入1,800,000千円があったものの、長期借入金の返済による支出1,049,805千円、自己株式の取得による支出408,700千円や短期借入金の純減額300,000千円があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、平成25年５月13日に公表いたしました開示資料をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社バイノスは、株式を追加取得したことに伴い、特定子会社となりました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

１．簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第２四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

２．特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,376,343	6,364,134
受取手形及び売掛金	557,399	1,172,095
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	77,811	35,785
仕掛品	－	9,584
その他	779,881	727,113
貸倒引当金	△66,838	△7,169
流動資産合計	7,824,596	8,401,545
固定資産		
有形固定資産	177,545	252,808
無形固定資産		
のれん	23,851	335,864
その他	180,125	160,168
無形固定資産合計	203,976	496,033
投資その他の資産		
投資有価証券	686,320	599,804
その他	595,200	885,840
貸倒引当金	△41,288	△121,615
投資その他の資産合計	1,240,233	1,364,029
固定資産合計	1,621,755	2,112,870
繰延資産	193,696	152,360
資産合計	9,640,048	10,666,776
負債の部		
流動負債		
買掛金	371,789	611,975
短期借入金	900,000	681,500
1年内返済予定の長期借入金	1,826,259	1,752,684
未払法人税等	162,504	184,299
賞与引当金	14,572	15,121
会員引当金	132,492	173,636
支払備金	10,514	12,304
責任準備金	199,201	214,714
その他	601,781	770,063
流動負債合計	4,219,115	4,416,299
固定負債		
長期借入金	1,764,563	2,630,157
その他	796,294	859,802
固定負債合計	2,560,857	3,489,959
負債合計	6,779,973	7,906,258

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	756,860	756,860
資本剰余金	824,405	824,405
利益剰余金	1,612,159	1,851,924
自己株式	△474,230	△883,699
株主資本合計	2,719,194	2,549,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,570	18,582
その他の包括利益累計額合計	8,570	18,582
少数株主持分	132,310	192,445
純資産合計	2,860,075	2,760,518
負債純資産合計	9,640,048	10,666,776

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	3,752,889	4,536,115
売上原価	2,076,941	2,482,605
売上総利益	1,675,947	2,053,509
販売費及び一般管理費	1,277,071	1,603,182
営業利益	398,876	450,327
営業外収益		
受取利息	1,712	15,792
受取配当金	418	598
違約金収入	75,087	－
持分法による投資利益	7,197	－
その他	17,421	8,967
営業外収益合計	101,836	25,359
営業外費用		
支払利息	14,025	13,384
貸倒引当金繰入額	61,921	－
持分法による投資損失	－	4,627
保険業法第113条繰延資産償却費	40,312	41,277
その他	876	1,313
営業外費用合計	117,135	60,602
経常利益	383,576	415,084
特別利益		
投資有価証券売却益	10,612	63,410
特別利益合計	10,612	63,410
特別損失		
投資有価証券評価損	－	60,649
特別損失合計	－	60,649
税金等調整前四半期純利益	394,189	417,844
法人税等	205,340	121,294
少数株主損益調整前四半期純利益	188,848	296,550
少数株主損失（△）	△2,113	△6,113
四半期純利益	190,961	302,664

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188,848	296,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,661	9,984
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	27
その他の包括利益合計	18,632	10,012
四半期包括利益	207,481	306,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,594	312,676
少数株主に係る四半期包括利益	△2,113	△6,113

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394,189	417,844
減価償却費	102,110	63,387
保険業法第113条繰延資産償却費	40,312	41,277
のれん償却額	1,923	4,029
貸倒引当金の増減額（△は減少）	61,770	20,657
賞与引当金の増減額（△は減少）	△204	548
会員引当金の増減額（△は減少）	25,726	41,143
受取利息及び受取配当金	△2,130	△16,391
支払利息	14,025	13,384
持分法による投資損益（△は益）	△7,197	4,627
投資有価証券売却損益（△は益）	△10,612	△63,410
投資有価証券評価損益（△は益）	－	60,649
売上債権の増減額（△は増加）	△204,116	△295,526
たな卸資産の増減額（△は増加）	3,153	44,412
前払費用の増減額（△は増加）	7,040	4,573
未収入金の増減額（△は増加）	△59,648	△2,656
差入保証金の増減額（△は増加）	1,426	5,348
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△7	△107,647
仕入債務の増減額（△は減少）	62,306	120,623
未払金の増減額（△は減少）	97,653	59,734
前受収益の増減額（△は減少）	6,297	13,951
長期前受収益の増減額（△は減少）	63,971	72,606
その他	77,275	58,631
小計	675,267	561,799
利息及び配当金の受取額	1,581	12,401
利息の支払額	△12,982	△14,220
法人税等の支払額	△364,867	△7,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,999	552,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△100,000	△100,000
有価証券の売却による収入	－	100,000
有形固定資産の取得による支出	△181,206	△38,920
有形固定資産の売却による収入	112,317	111,267
無形固定資産の取得による支出	△55,633	△12,947
投資有価証券の取得による支出	△19,510	△100,731
投資有価証券の売却による収入	14,754	205,817
子会社株式の取得による支出	△40,000	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△433,674
貸付けによる支出	－	△300,000
貸付金の回収による収入	795	25,819
保険業法第113条繰延資産の増減額（△は増加）	△53,163	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,645	△543,368

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	△300,000
長期借入れによる収入	500,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△548,765	△1,049,805
自己株式の取得による支出	△140,707	△408,700
配当金の支払額	△66,541	△62,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356,014	△21,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	16
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△378,661	△12,208
現金及び現金同等物の期首残高	5,622,915	6,376,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,244,254	6,364,134

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	コールセンター	会員	企業提携	加盟店	少額短期保険	自動車賃貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	329,995	1,158,827	1,680,795	84,781	361,489	135,634	3,751,522	1,366	3,752,889	－	3,752,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3,169	－	－	125,932	1,902	131,004	－	131,004	△131,004	－
計	329,995	1,161,996	1,680,795	84,781	487,421	137,536	3,882,526	1,366	3,883,893	△131,004	3,752,889
セグメント利益又は損失(△)	99,720	350,272	114,389	△155,597	103,350	13,871	526,006	△210	525,795	△126,919	398,876

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△126,919千円には、セグメント間取引消去△4,473千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△122,446千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	コールセンター	会員	企業提携	加盟店	少額短期保険	自動車賃貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	306,422	1,580,164	1,589,392	64,431	726,578	60,555	4,327,545	208,569	4,536,115	－	4,536,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	5,932	25	26,277	101,465	3,429	137,130	－	137,130	△137,130	－
計	306,422	1,586,097	1,589,418	90,709	828,044	63,984	4,464,675	208,569	4,673,245	△137,130	4,536,115
セグメント利益又は損失(△)	71,446	456,293	128,519	△139,580	88,188	△14,508	590,358	△12,554	577,804	△127,477	450,327

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△127,477千円には、セグメント間取引消去2,695千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,172千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。